

保育所 丸の内保育園

開園48年の本園は、開設以来高知街地区の「たかしろ乳児保育園」とともに高知市乳児保育の推進役を果たしてきました。

近年、核家族化、少子化の進行、子育て家庭の地域からの孤立、子育て不安の増加等、子どもと子育てをめぐる環境が大きく変化し、すべての子どもたちの健やかな育ちを支えるとともに、入所する子どもや保護者に対する適切な支援が求められています。

また、家庭や地域など様々な社会との連携を図りながら、それらに向けた取り組みが行われています。

子ども子育て支援新制度が進められる中、子どもの連続した発達の保障、質の高い保育を目指し、研修体系の構築、専門性の向上を目指しています。

◎平成31年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

(1) 安心して過ごせる家庭的な環境の中で一人ひとりを大切にされた保育を行い、質の高い養護、教育により子どもの育ちを保障

- ① 乳幼児期における情緒の安定や信頼関係の形成、一人ひとりの発達に応じた適切なかわりに留意し、質の高い保育、教育の安定的な提供に努めた。
- ② 保護者、家庭の生活の実態、子ども達の現状をしっかりと把握し、安心して安全に園生活を過ごすことができるよう職員間の共通理解のもと取り組んだ。

(2) 早出・居残り、乳児保育、特別支援（障がい児）保育等、保護者の多様なニーズに沿った保育サービスの向上と情報の提供

- ① 入所する子ども達の育ちを支え、保護者の子育てを支えるため、0歳児の途中入所を多く受け入れた。
- ② 発達の気になる子ども、貧困など社会的な支援の必要性が高い子どもや家庭を含め、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境の変化をふまえ柔軟に対応した。

(3) 世代間交流事業、異年齢児交流事業、保育所地域活動事業の実施

- ① 敬老の日の訪問では、地域の高齢者宅、デイケア施設等に行き、うたを歌ったり手作りのプレゼントを手渡し、健康を願うメッセージを届けるなど、人をいたわる優しい心を育むことができた。
- ② 校区である第六小学校との保小連携の機会を持ち、小学生の園への行事参加や、年長児も小学校での遊びを通して就学に向けての興味が持て、職員間でも合同研修をし、連携を図ることができた。
- ③ 地域の「100歳体操」に参加するお年寄りとの交流会に年長児が参加し、わらべ歌、ふれあい遊び、伝承遊びなど一緒に楽しむ機会が持てた。
また、本園のPTA行事の際には、周辺の店舗にポスターを掲示させていただくなど、交流を図ることができた。

(4) 職員間の連携を図り、子育てに関する相談、家庭環境に対する積極的な支援

- ① 保護者との関係性を大切にし、相談事に耳を傾け、保健師、保育士による面談、相談の機会を設け、園全体で子育て及び家庭支援の強化を図った。

- ③ 家庭環境に対する配慮等、保護者の悩みや子どもの育てにくさに対して相談を受けたり、園長、主任、家庭支援加配保育士、担任が密に話し合い、専門機関とも連携をとりながら園としての対応を考えたり、園全体で共有し、家庭や子どものありのままを受け止めるよう取り組んだ。

(5) 保育士の資質向上と保育水準の向上について

- ① 施設内外の研修に計画的に参加し、職員の自己研鑽に必要な機会の確保に努め、研修後は職員会等で内容を共有した。
- ② 子ども・子育て支援制度、改定保育所保育指針についての理解等、一人ひとりが課題を明確にすることができた。

(6) 保護者の就労支援の為、延長保育、土曜午後保育の実施

- ① 保護者の就労支援の為、保育の必要な家庭対象に平日午後7時まで、土曜日は午後5時30分までの保育を実施した。

(7) 津波避難計画に基づいた避難訓練や防災活動への積極的な参加

- ① 様々な想定に基づいた訓練を積極的に実施した。
- ② 防災、減災対策の課題を共有しつつ、マニュアル、対応についての見直しを行った。

(8) 近隣に居住する保護者の少ない園ではあるが、今後は地域の子育て支援の機能を強化すべき取り組みの展開

- ① 保育園が地域子育て支援のニーズにこたえていく役目は年々増加している。地域の子育て家庭とつながることの必要性を考え、地域の親子への園行事への参加の案内等、取り組みは進めてきた。地域と一体となった支援には十分結びついていないが、地域の民生委員・児童委員さんとも連携し、園児確保や開かれた園づくりを今後も考えていきたい。

(9) 園舎改築についての取り組み

- ① 平成31年2月からの解体作業ののち、4月より新園舎の建設が始まり、令和2年2月下旬に完成。仮設園舎の解体、借地の返還も年度内に終了した。
- ② 園舎北側の土地(約218㎡)を購入し「第2園庭」とした。固定遊具を設置し、園庭、第2園庭、屋上広場と戸外で遊ぶ機会が多く持てるようになった。

◆組織の状況

令和2年3月31日現在

定員	120名
職員数	28名(正職12名、臨職10名、パート6名)
保育時間	平日(7:30~19:00) 土曜(7:30~17:30)
早出、居残り児童	早出児童40名、居残り児童95名
土曜日の午後保育	登録園児数40名、平均利用人数20名

※家庭支援推進加配保育士1名、臨時職員10名中に特別支援担当保育士2名、特別支援加配保育士1名を含む

パート職員 6 名は延長保育時間対応（3 時間～6 時間パート）
 嘱託医内訳（歯科医 1 名・内科医 1 名）

◆在籍児童数

令和 2 年 3 月 3 1 日現在

年齢別	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
児童数	1 5	1 9	1 9	1 3	1 9	2 2	1 0 8

◆年度別：月平均在籍児童数

年 度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	元 年度
3 歳児以上	5 5 名	5 5 名	6 1 名	6 1 名	5 4 名
3 歳児未満	6 5 名	6 5 名	5 9 名	4 5 名	5 1 名
計	1 2 0 名	1 2 0 名	1 2 0 名	1 0 6 名	1 0 5 名

◆令和元年度 月別児童数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総数	98	98	100	102	105	107	110	109	108	108	108	108
入所	0	0	2	2	3	2	3	1	0	1	0	0
退所	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0

◆職員の資質向上(=研修)への取り組み状況

- 乳児研修・・・・・・・・・・ 4 名
- 給食・アレルギー関係研修・・・・・・・・ 5 名
- 保育士研修・・・・・・・・・・ 2 5 名（高知県保育士会）
- 保育業務に関する研修・・ 8 8 名（特別支援(障がい児)保育研修会・家庭支援研修会、園評価について、人権研修、絵本・遊びの研修、カウンセリング研修・プール・衛生、感染症、リズム研修、保育の日、ほっとポートの研修、キャリアアップ研修、園長研修、主任研修)
- 保小連携研修・・・・・・・・・・ 5 名
- 防災研修・・・・・・・・・・ 4 名

◆令和元（平成31）年度主要な年間行事

- 4月 入園式、顔合わせ集会、乳幼児組別懇談会、個別懇談、高知市交通安全教室
- 5月 春の交通安全運動出発式（年長児）、こいのぼり運動会、全園児健診、わんぱくこうち行き（年長児）、劇団飛行船観劇（年長児）、検尿（4・5歳児）
- 6月 保育参観、離乳食試食（0歳児）、親育ち研修会、プール開き、歯科検診、不審者侵入訓練、園児・小学生（1年）の実践交流
- 7月 市営プール行き（年長児）、七夕まつり、夕涼み会、夏の水遊び、園児・小学生（2年）の実践交流（忍者修行アスレチック）
- 8月 第六小教員保育見学、保小連携合同研修会、大掃除
- 9月 通報総合避難訓練、敬老慰問、敬老の日行事（祖父母への手紙を出す）、未満児健診、秋の交通安全出発式、総合通報避難訓練（地震、火災）
- 10月 運動会、お芋ほり、園児・小学生の実践交流（おもちゃまつり）
- 11月 木曜市お買物（年長児）、親子遠足（みかん狩り）、筆山の山登り、家族のプレゼント、保育の日、全園児健診、園児・小学生の実践交流（学習発表会リハーサルを見る）、就学前健康診断
- 12月 生活発表会、クリスマス会
- R2/1月 お餅つき、初詣、お正月あそび、オーテピア未来科学館（風で遊ぼう）（年長児）、バザー・お店やごっこ
- 2月 豆まき、小学校一日入学（5歳児）、交通公園安全教室（年長児）、新園舎引越、未満児健診
- 3月 通報総合避難訓練（火災）、新入児保護者会、卒園式

- その他 ◆ 毎月お誕生日会、避難訓練を行っている。
◆ 個別相談、育児相談は必要に応じて行っている。

※ 令和2年2月下旬より、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行により、行事の見直し縮小が言われ、内容を変更、中止したものがある。